

【資料 4－2】

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2026年8月7日
作成 高齢者支援センター	南第1
作成者	内山良平

1.開催日時	令和8年7月22日(水)		14:00	～	15:30
2.会場	つくし野コミュニティセンターホール				
3.主催センター	南1				
4.参加人数	57人				
5.参加者内訳	☒ 高齢者支援センター 7人 ☒ 医療と介護の連携支援センター 2人				
	☒ 医療関係者 21人 (うち、医師 2人) ☒ 介護事業者 18人				
	☒ 民生委員 7人 ☐ 老人会 人 ☐ 住民 人				
	☐ 町内会自治会 人 ☐ 警察 人 ☐ 行政 人				
	☒ その他 (行政書士1人 司法書士1人)				
6.開催テーマ	～地域に必要な社会資源とは～				
7.地域課題	(1)課題設定の背景 居宅介護支援事業所のケアマネジャーから、坂道が多い地域(つくし野等)での利用者の外出のしづらさについて支援センターに意見が挙がっている。要支援・要介護状態となっても地域で安心して生活を継続していくための介護・医療・店舗情報などのインフォーマルを含む情報を把握した資料がない。必要な情報が十分に共有されておらず、車いすが設置されているスーパーや車いすで利用可能なトイレ等がどこにあるのかわからない等、生活上の不便や不安を抱えている方がいる。 (2)検討した地域課題 この地域で生活し続けるために、誰もが外出しやすくなるための地域に必要な資源の把握や検討の機会がない。				
8.医療と介護の連携に関する課題	医療・介護の視点からこの地域で生活し続けられるための情報を把握する機会がない。				
9.会議の内容	①趣旨説明:坂道が多く要支援、要介護になっても安心して外出ができるために何が必要か。これまで南第1で実施した地域ケア会議事例紹介(つくし野マップ、アルコール)を行うとともに、今回のテーマについて、まずは医療、介護、住民等の立場から意見出しをすると説明。 ②事前アンケート結果共有:病院受診、買い物等、外出に苦労しているとの意見が複数みられた。 ③グループワーク、発表、全体共有:各グループからの意見内容(・病院や介護事業所等相談先が分かりにくい。・受診にいくのが大変で休憩スポットがほしい・高齢者は移動が困難となり、買い物や通院が難しくなる。移動販売をもっと増やす。コミュニティバスや買い物専用バスの導入、「買い物ツアー」のように交流も兼ねた外出支援。・孤独感を抱える高齢者が多い。サロンを紹介しても参加につながらない人が多い。・外出を促す身体作り栄養講座など。)				
10.課題に対する対応策・今後の地域での展開	地域住民は病院や介護事業所等相談先が分かりにくことも課題と感じているとの意見も出たため、医療・介護の社会資源を一覧化し、分かりやすく発信することも検討が必要と考える。次回各グループで出た意見に対する課題解決に向けて、地域住民・自治会・医療介護関係者が連携しながら、さらに実現可能な取り組みを絞るための意見交換を行っていく。				
11.その他					

医療と介護の連携支援センター 確認日	8月7日
--------------------	------